

# 2023年3月期 第3四半期 決算説明会

2023年2月7日

株式会社 ジーエス・ユアサ コーポレーション

## 2023年3月期 第3四半期決算状況

1. 概要 .....	4
2. 売上高・利益 .....	5
3. セグメント別業績 .....	7
・自動車電池（国内） .....	8
・自動車電池（海外） .....	9
・産業電池電源 .....	10
・車載用リチウムイオン電池 .....	11
・特殊電池およびその他 .....	12
4. 貸借対照表 .....	13
5. トピックス .....	14

# 2023年3月期 第3四半期決算状況

---

- 世界経済は、ウクライナ情勢などに起因する原材料価格上昇、エネルギーコスト増加などにより物価が上昇するなど、先行きは引き続き不透明な状況です。ただし、新型コロナウイルス感染症による経済活動の停滞が緩和されつつあり、中国ではゼロコロナ政策が見直されました。また、日銀が長期金利の許容変動幅を拡大したことにより、急激に進行した円安の流れに変化が生じました。
- 売上高および営業利益は、主としてハイブリッド車用リチウムイオン電池の販売数量の増加、トルコ拠点の連結子会社化に加え為替の円安影響もあり増加しましたが、経常利益は、持分法による投資損益の悪化や為替差損の計上などがあり前年並みとなりました。
- 親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年度に減損損失を計上していた影響がなくなり、増加しました。

## 2. 売上高・利益



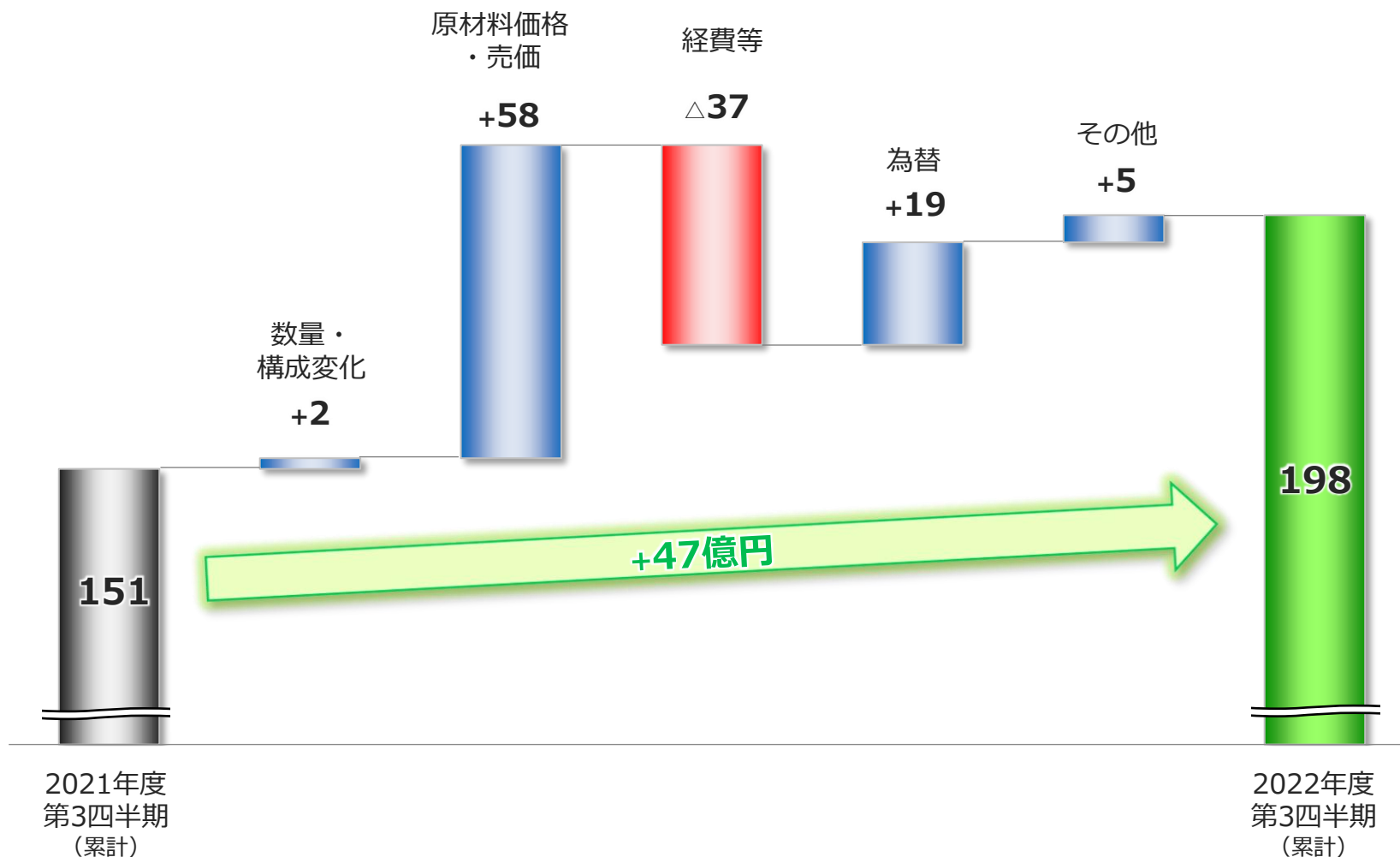
(億円)

	2021 年度 第3四半期 (累計)	2022 年度 第3四半期 (累計)	増減	(前期比)
売上高	3,131	過去最高 3,749	+618	(+19.7%)
営業利益 (営業利益率)	139 4.4%	過去最高 190 5.1%	+51 +0.7P	(+36.6%)
のれん等償却前営業利益 (のれん等償却前営業利益率)	151 4.8%	過去最高 198 5.3%	+47 +0.5P	
経常利益	161	161	△0	(△0.1%)
特別利益	23	16	△7	
特別損失	74	5	△69	
税前四半期純利益	110	172	+62	
法人税等	49	57	+8	
非支配株主に帰属する四半期純利益	27	36	+9	
親会社株主に帰属する四半期純利益 (四半期純利益率)	33 1.1%	78 2.1%	+45 +1.0P	(+134.4%)
のれん等償却前 親会社株主に帰属する四半期純利益 (のれん等償却前四半期純利益率)	43 1.4%	86 2.3%	+43 +0.9P	
国内鉛建値 (万円/t)	31.20	34.71	+3.51	
L M E (US\$/t)	2,266	2,093	△173	
為替 (円/US\$)	111.45	136.85	+25.40	

## 2. 売上高・利益

### 営業利益増減要因（前年比較）

（億円）



(注) 営業利益はのれん等償却前営業利益です。

# 3. セグメント別業績

(億円)

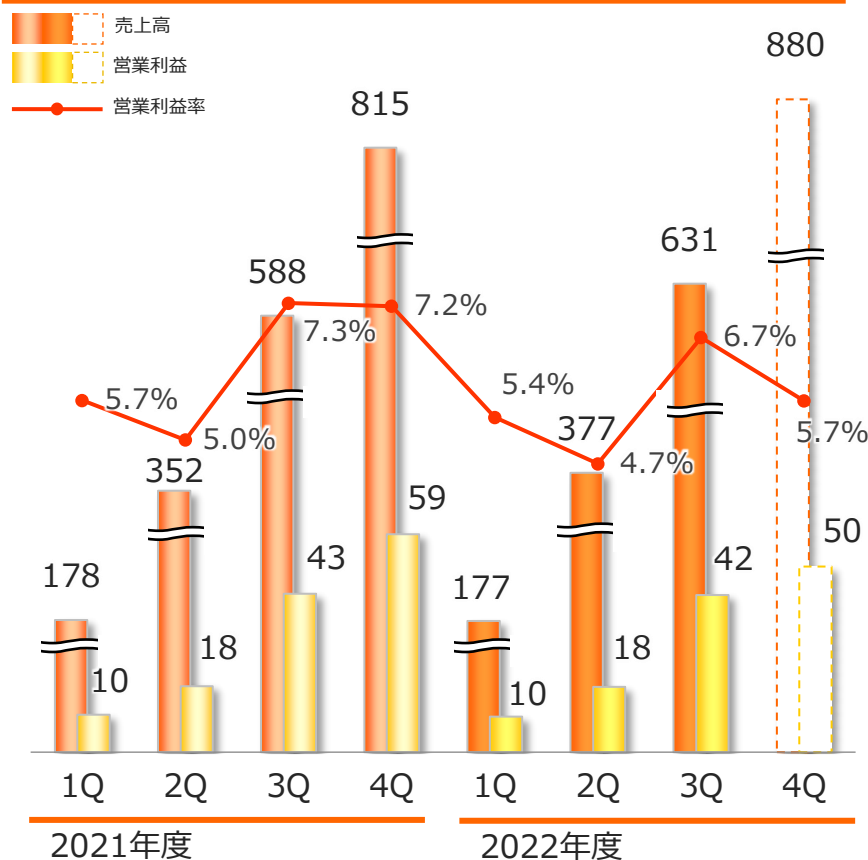
		2021 年度 第3四半期 (累計)		2022 年度 第3四半期 (累計)		増減	
		売上高	営業利益 (利益率:%)	売上高	営業利益 (利益率:%)	売上高	営業利益 (利益率:P)
自動車電池	国内	588	43 (7.3)	631	42 (6.7)	+43	△1 (△0.6)
	海外	1,380	71 (5.2)	1,869	102 (5.5)	+489	+31 (+0.3)
産業電池電源		710	20 (2.9)	672	35 (5.2)	△38	+15 (+2.3)
車載用リチウムイオン電池		332	13 (3.9)	452	10 (2.2)	+120	△3 (△1.7)
特殊電池およびその他		121	3 (2.7)	124	8 (6.8)	+3	+5 (+4.1)
合計		3,131	151 (4.8)	3,749	198 (5.3)	+618	+47 (+0.5)

(注) 営業利益はのれん等償却前営業利益、営業利益率はのれん等償却前営業利益率です。

# 3. セグメント別業績 (自動車電池 (国内))

## 自動車電池 (国内)

売上高・営業利益・利益率



(注) 営業利益はのれん等償却前営業利益、営業利益率はのれん等償却前営業利益率です。

## 増収減益

(億円)

2022年度 第3四半期商況

- 新車向け販売数量は、半導体不足などによる新車メーカー減産の影響により前年並みに推移
- 補修向け販売数量は微減となったが、値上げなどにより売上高が増加

## 増減益要因

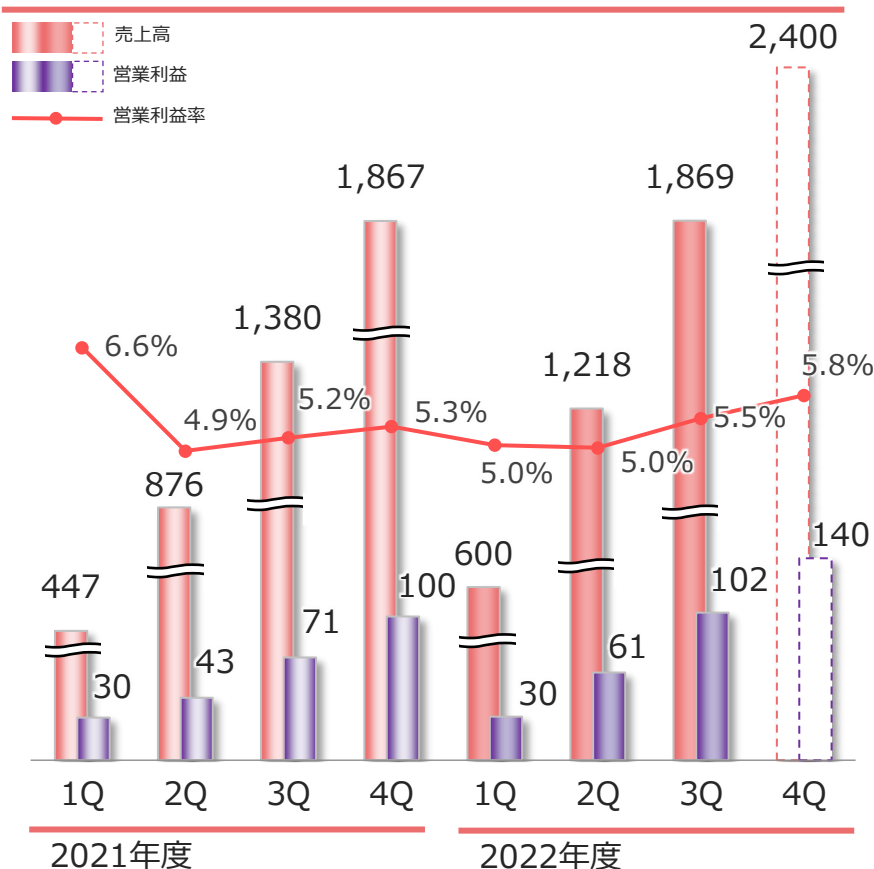
数量・構成変化	△8
原材料価格・売価	+7
合理化・経費等	+0



# 3. セグメント別業績 (自動車電池 (海外))

## 自動車電池 (海外)

売上高・営業利益・利益率



## 増収増益

(億円)

2022年度 第3四半期商況

- ▶ 東南アジアでの自動車・オートバイ用販売数量は好調をキープ
- ▶ トルコ拠点の連結化により自動車用販売数量が増加
- ▶ 原材料価格高騰などに伴う売価見直し、円安影響により売上高が増加

## 増減益要因

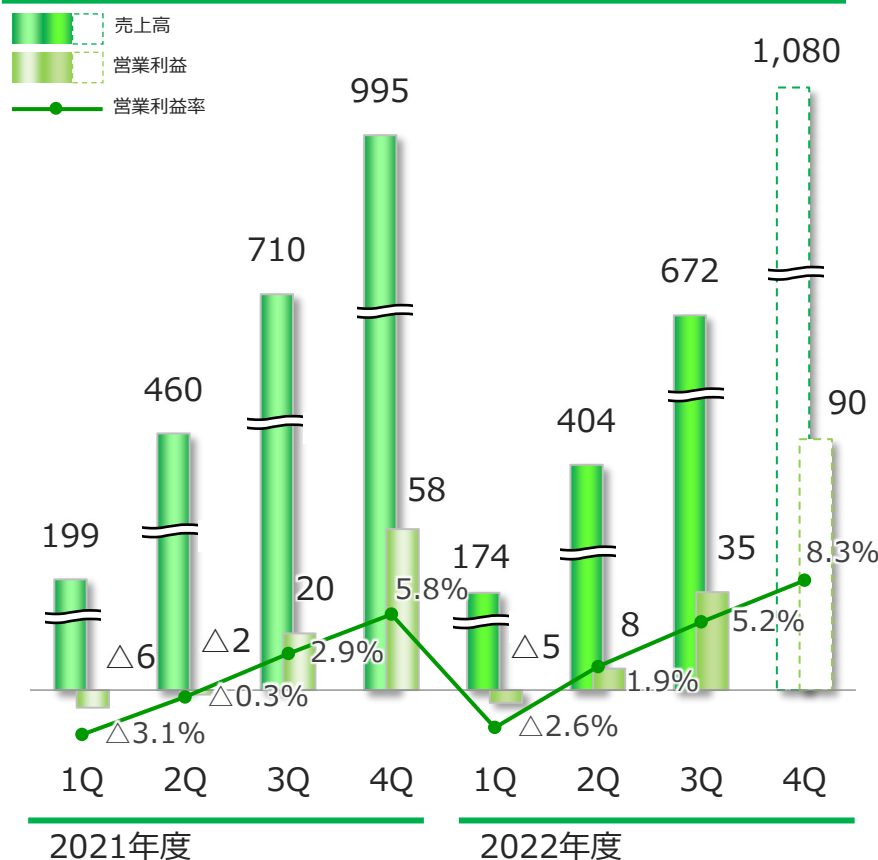
数量・構成変化	△12
原材料価格・売価	+40
経費等	△16
為替	+19

(注) 営業利益はのれん等償却前営業利益、営業利益率はのれん等償却前営業利益率です。

# 3. セグメント別業績 (産業電池電源)

## 産業電池電源

売上高・営業利益・利益率



## 減収増益

(億円)

2022年度 第3四半期商況

- ▶ 北海道大規模風力発電向け系統連系用リチウムイオン電池の納入が前年度終了したことで売上高が減少
- ▶ 再生可能エネルギー用リチウムイオン電池の販売が増加
- ▶ バックアップ用電池電源装置はミニUPSの部品長納期化により売上高が減少
- ▶ フォークリフト用は新車補修ともに数量が堅調に推移

### 増減益要因

数量・構成変化	+14
原材料価格・売価	+2
経費等	△1

# 3. セグメント別業績 (車載用リチウムイオン電池)



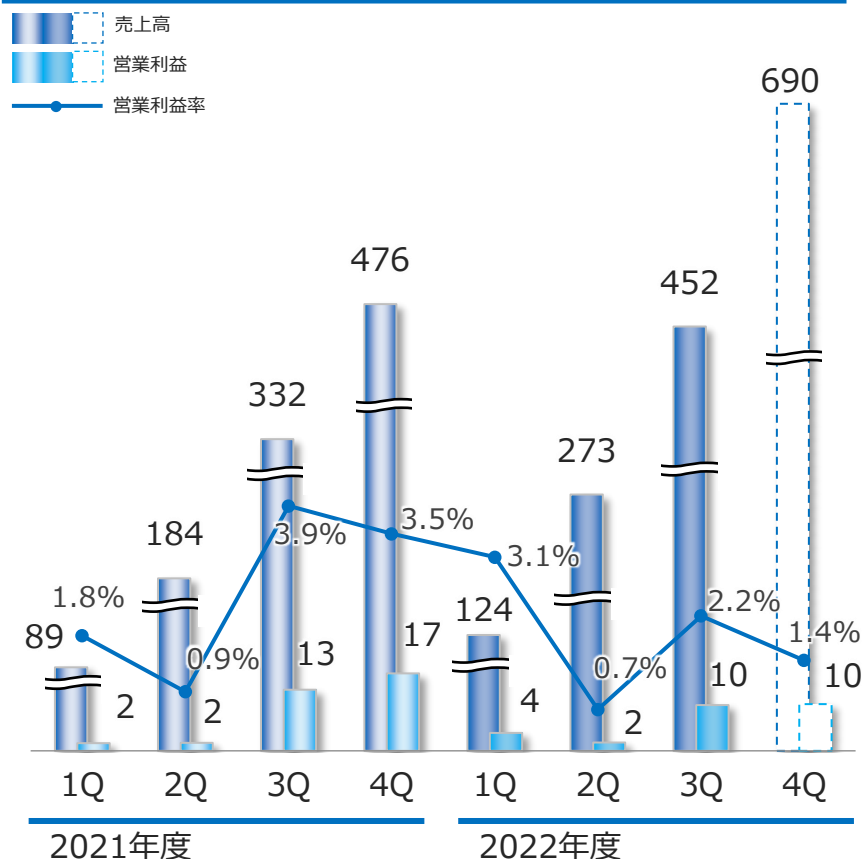
## 車載用リチウムイオン電池

### 増収減益

(億円)

売上高・営業利益・利益率

2022年度 第3四半期商況



- ▶ [ブルーエナジー (BEC)]  
ハイブリッド車用リチウムイオン電池は第2工場の稼働開始により販売数量が増加
- ▶ [リチウムエナジー ジャパン (LEJ)]  
プラグインハイブリッド車用リチウムイオン電池搭載車種の販売が減少

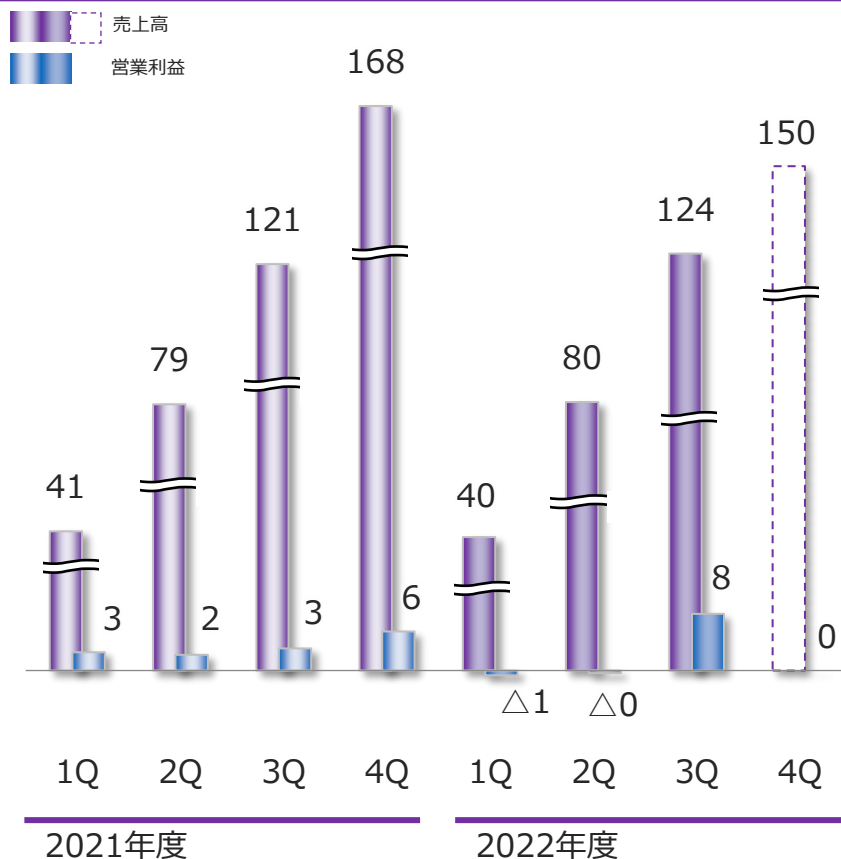
### 増減益要因

数量・構成変化	+8
原材料価格・売価	+9
経費等	△20

### 3. セグメント別業績 (特殊電池およびその他)

## 特殊電池およびその他

売上高・営業利益



## 増収増益

(億円)

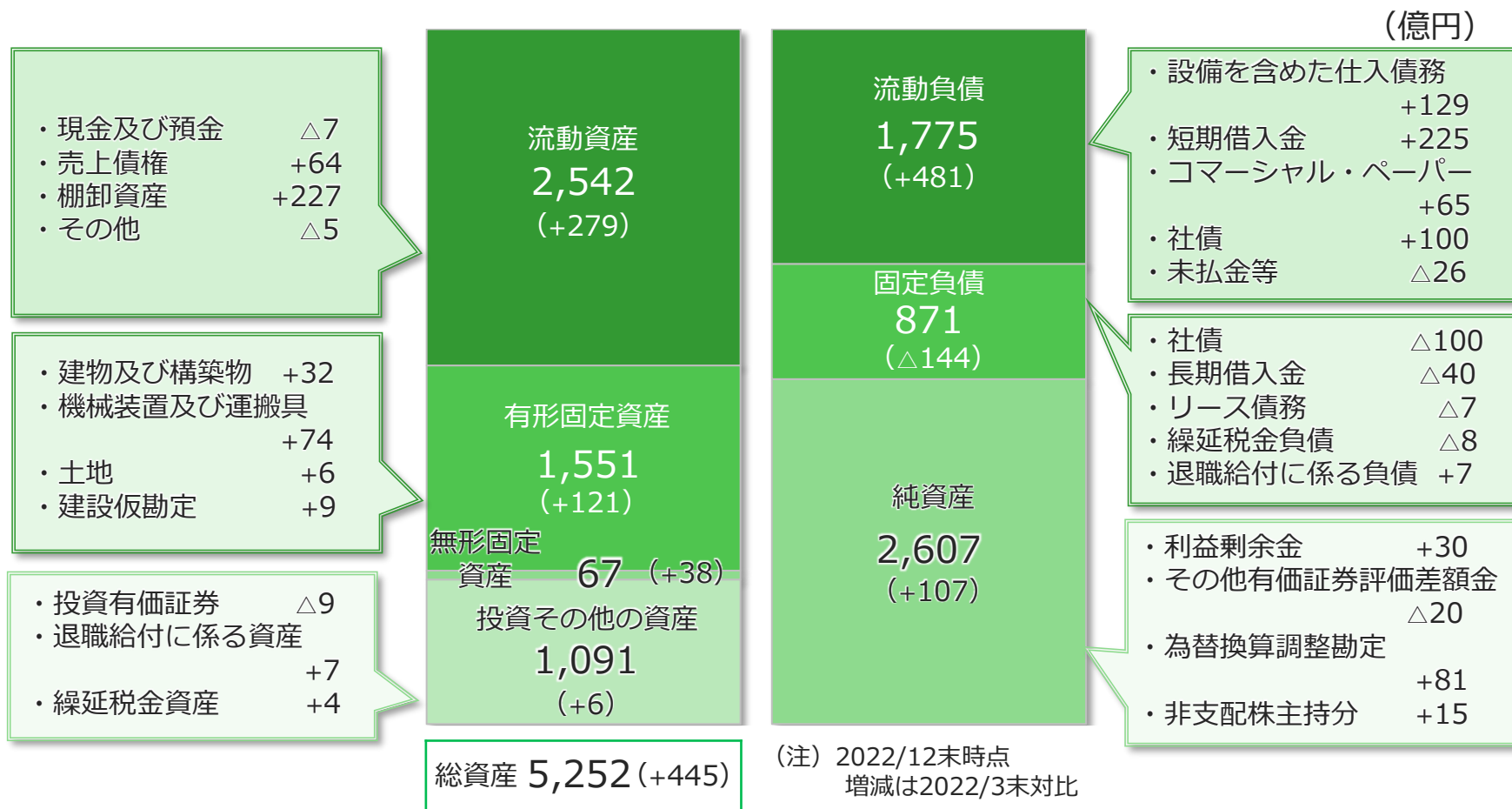
2022年度 第3四半期商況

- 航空機用リチウムイオン電池は主としてエアライン（補修）向け販売数量が増加

### 増減益要因

航空機用リチウムイオン電池の販売増加ならびに経費の減少により増益

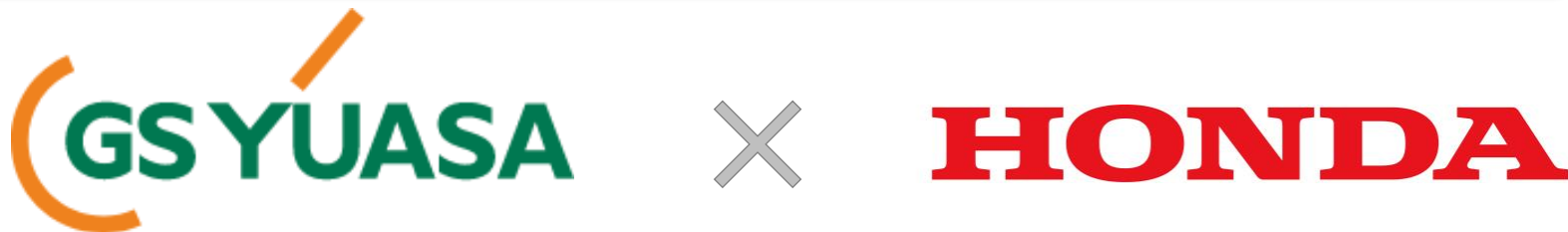
# 4. 貸借対照表



	2022/3末	2022/12末
自己資本比率	44.8%	42.7%
借入金総額	825億円	1,074億円

# 5. トピックス

## Hondaとの協業に向けた基本合意の締結について



### 協業目的

急速に拡大するバッテリー需要に対応するため、グローバル市場において高い競争力を持つリチウムイオンバッテリーと、その製造方法を研究開発するとともに、主要原材料のサプライチェーンや効率的な生産システムの構築を目指す

### 協業に向けた検討範囲

- EV搭載用を中心とした高容量・高出力なリチウムイオンバッテリーおよび、その製造方法についての研究開発
- 研究開発に関する特許等の知的財産の構築および管理
- 研究開発による技術を用いた製品や販路の企画
- 主要原材料のサプライチェーンを含めた効率的な生産オペレーションの設計等

本資料は、当社グループの業績等についての一般的な情報提供を目的とするものです。本書に含まれる予測、予想、計画その他の将来情報は、当社において利用可能な情報に基づく現時点における当社の認識又は判断に基づくものであり、実際の結果はこれらの情報と大きく異なることがあります。また、当社は、本資料に記載された情報に変更又は更新があった場合にも、その内容を提供又は開示する義務を負うものではありません。



連絡先

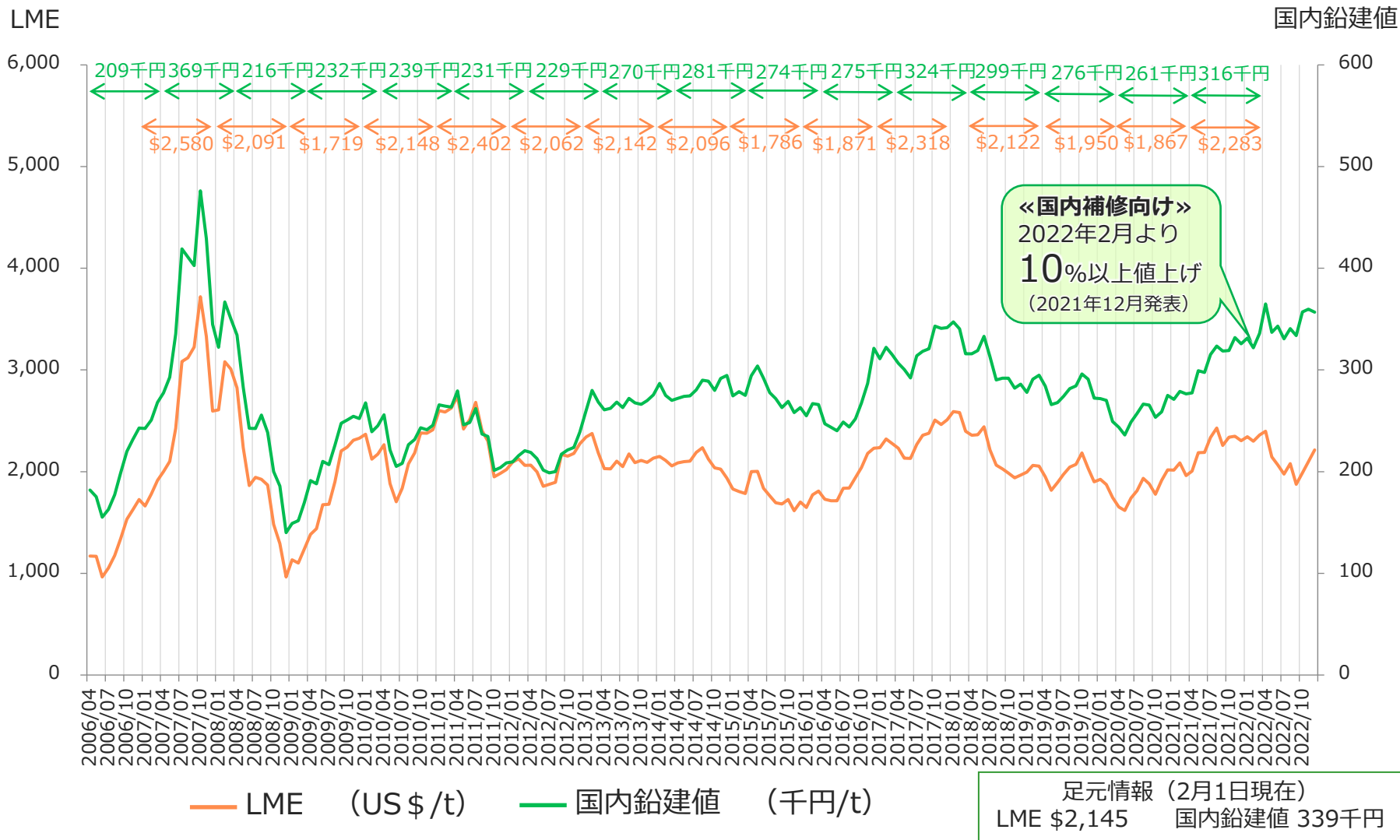
株式会社 ジーエス・ユアサ コーポレーション  
コーポレート室（広報） 青木 裕 ・ 西島 務 ・ 田中 祥太  
Tel : 075-312-1214  
<https://www.gs-yuasa.com/jp>

## 參考資料

---

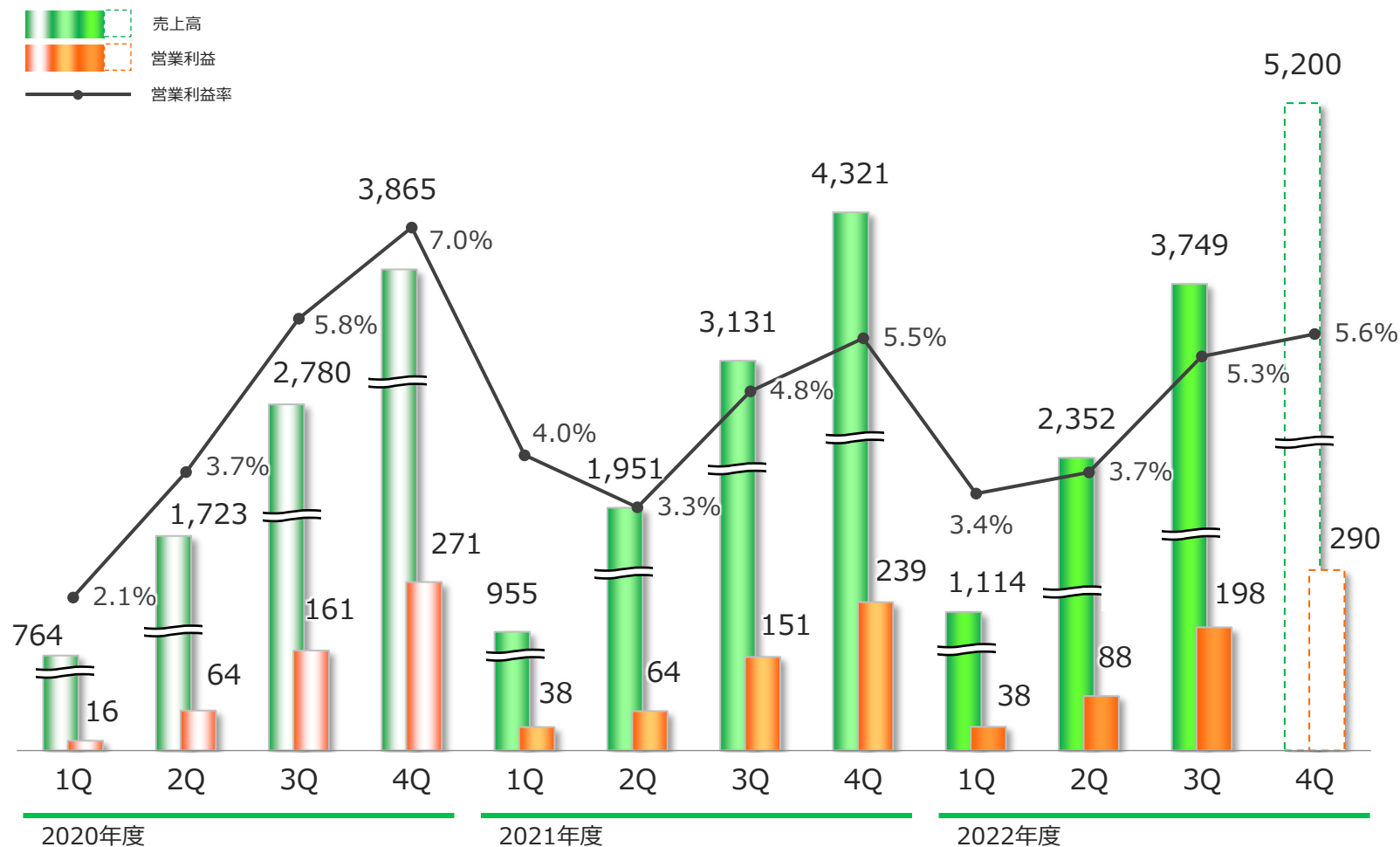


## 原材料価格の推移



## 売上高・営業利益・利益率推移

(億円)



(注) 営業利益はのれん等償却前営業利益、営業利益率はのれん等償却前営業利益率です。